

令和2年度 福井県立美方高等学校 学校関係者評価書

<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価書の成果と課題が適切か。 ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
同窓会長 岩本 克己 氏 後援会理事長 金吾 康史 氏 P T A会長 田中 正志 氏
○中高一貫教育 <ul style="list-style-type: none"> ・近年、中高一貫教育制度を活用して本校へ入学する生徒が減少を続けている。中学生やその保護者にとって魅力が小さくなってきているのではないか。制度そのものを抜本的に見直し、美方高校にとっても、中学生や保護者にとっても有意義なものに改善する必要がある。
○教育課程・学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備など、他校と比較しても学習環境はよく整っているといえる。大いに活用して価値ある教育をしてほしい。 ・新型コロナウイルス感染症対策の影響で、リモート学習が行われるようになった。そこで必要になるのは、自分自身をしっかりコントロールして、自立心と向上心を持ち続ける生徒を育てる指導である。個人によって習熟度や学習意欲が異なることには、個別対応が必要である。
○生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒と校外で会う機会も多いが、他校の生徒や中学生の方が快く挨拶するようになる。たかが挨拶、されど挨拶。礼儀正しい美方高校の校風が失われることは大変残念だ。 ・学校の規則・ルールは生徒が戸惑わずにすむように、明確に示してあげてほしい。指導する教員や場面によって指導内容が異なっていると感じられてしまうようではいけない。生徒や保護者に不信感を生じさせるおそれもある。
○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・本校はいじめの少ない学校で、風紀もさほど乱れていないと思うが、SNSでの話題や生徒の話などからすると、いじめを含んで学校の問題が取り沙汰されているようだ。良い校風の確立・維持の為に指導を願う。
○進路指導 <ul style="list-style-type: none"> ・10年前までは、国公立大学や有名私立大学、難関大学・学部への進学実績を上げていたが、近年はその数が減少しているように思える。地元中学校では、大学進学を目指して敦賀高校や若狭高校へ進むことを選択するという動きも少なからずある。ぜひ、中学生や保護者に「選ばれる」学校にしてほしい。
○保健管理・安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・県内の高校でも休校になるなど、現在は新型コロナウイルス感染症対策が衛生・安全管理の最優先重要課題である。よろしく願いたい。今年度は、生徒が日々安全に生活ができています。 ・自転車通学生徒の安全意識について指導を徹底する必要がある。夕暮れ・夜間の無灯火や危険運転をなくしてほしい。
○図書整備・情報管理 <ul style="list-style-type: none"> ・読書離れを危惧する声が世間で大きくなっている昨今、読書に対する興味・関心を持たせるように指導を行っていることは、大いに評価したい。本を読む習慣が根付くよう、生徒の求める声にも耳を傾けながら、指導を進めていきたい。
○開かれた学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方々が本校に対して、いかに関心を持ち理解して応援して下さるか、また、本校卒業生・同窓会がいかに応援するか。それらと学校がいかに連帯するか。後援会の存在などを考えると、地元地域をはじめ、学校外の「ファン」をより多くつくるのが、本校の課題である。 ・地域の応援は、本校の魅力につながっている。マスコミなども上手に利用してほしい。
○特色ある教育の充実（家庭学科） <ul style="list-style-type: none"> ・食物科は、食を通して社会と直接関わりが持てる学科である。積極的に地域貢献を行い、その成果を大きくアピールし、美方高校の名を上げることにつなげてほしい。先日のNHK「奇跡のレッスン」は、まさに時宜を得た企画であった。このような情報発信をこれからも続けることが望ましい。
○業務改善 <ul style="list-style-type: none"> ・I C T機器の活用の際には、生徒が身に付けるべきスキルを的確に習得できるように指導することが、結果的に業務改善につながるのではないかと。ただ、機器をどう扱うかということだけではなく、人と人とのつながりやぬくもりを忘れないように指導してほしい。 ・先生方の残業時間は減っているのか。早く帰れるような風土作りが必要だ。
○学校全体 <ul style="list-style-type: none"> ・本校を支える大切な部分である「地域とのつながり」が年々薄れていく昨今、今年度は新型コロナウイルス感染症対策がその傾向に拍車を掛けた。そんな中、入学定員を下回っての入学志望者数を見るにつけ、OBであり地域の代表（後援会）に属する自分が、美方高校に同様に貢献できるのか、思索する毎日である。 ・先生方は、よく頑張っておられる。ありがたい。先生と生徒の波長・歯車がうまく合っている学校だと思う。地域や行政と連携しながら、さらに良い学校にしてほしい。

○学校関係者評価をふまえた今後について

- ・普通科、生活情報科、食物科、それぞれの学科の特色を出していくための取り組みを検討し、探究的な学習の時間を中心に充実させていく。そのために、地元住民や企業、自治体など地域とのつながりをさらに強いものにし、また、50周年記念事業で整備していただいた機器や今年度生徒全員に導入されたタブレット端末等を最大限活用しながら、特色ある学校づくりを進めていく。その上で、美方高校の魅力を県内外に積極的に発信し、アピールしていきたい。なお、次年度も2年生全学科で「私たちの未来」発表会と題して、探究的な学習の時間で取り組んだ成果を発表する機会をもつ予定である。
- ・中高一貫教育においても、探究的な学習の時間での中高交流やタブレット端末を活用した生徒と教師、生徒間交流授業等を推進していく。
- ・「明強清」の校訓や「文武両道」の校是のもと、美方高校のあるべき姿を生徒にも再認識をさせ、生徒一人一人が誇りを持つことのできる学校をつくっていく。まずは挨拶からしっかり指導していきたい。